

イソメマトイ

Hydrotaea glabricula (Fallen)

ハエ目イェバエ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー 絶滅危惧Ⅰ類

選定理由

石川県では1960年ごろまでは多く見られたが、それ以後は急激に減少し、現在は生息箇所を認めることができない。

形態

体長3mmほどのごく小型のハエである。体色はわずかに光沢をもった黒色。ヒメクロイェバエ属に似るが、オスの前腿節先端腹面の切れ込みにある歯状突起により区別される。

国内分布

石川県と三宅島でのみで知られているが、現在の生息が確認されていない。

県内分布

白山市美川、金沢市（金石、安原、大野）、内灘町、かほく市高松で過去に多数採集されているが、現在はまったく見られない。

生態

国外では、本種は人につきまとい、ほとんどがメスとされている。堀克重・倉橋弘両氏によって石川県から初めて記録され、6月から7月にかけて多かったという。また、伏流水の湧水付近や民家の洗濯場の周囲に普通と記されているので、その付近が発生地と思われるが、詳細は不明である。

生息地の条件

海岸近くの湧水地点付近を生息地とするようである。

生存の危機

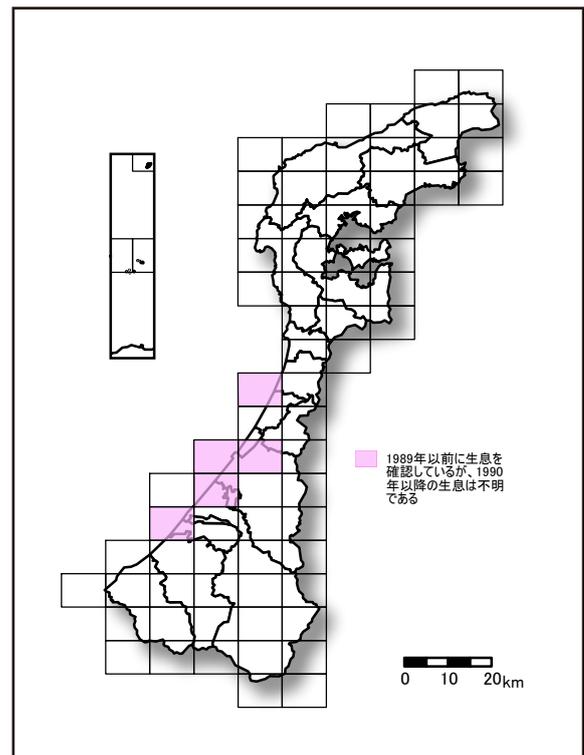
地下水揚水量の増加によって地下水位が低下しており、かつて存在した海岸近くの湧水箇所はほとんど消失している。さらに生息地付近での宅地化、農耕地化、水利・治水工事なども加わって、生息好適地がほとんどなくなったようである。本種の調査は十分ではないので、探索を続ける必要がある。
(A)

参考文献

- 堀 克重 1955. 石川県の昆虫. 石川県郷土史学会編. 郷土の自然, : 77-89.
堀 克重 1962. 能登半島の昆虫. 中部日本自然科学調査団報告能登半島の自然 : 26-27.
堀 克重・倉橋 弘 1966. 日本未記録のイェバエ科3種. 昆虫, 34 (1) : 68-75.
Shinonaga, S. and Kano, R. 1971. Fauna Japonica Muscidae (Insecta, Diptera) Vol. 1. Keigaku Publishing Co., Ltd., Tokyo. 244pp., 28pls.



写真提供者: 国立感染症研究所



県内の分布